



糸満市は 市制施行50周年を 迎えました。

糸満市は、糸満町・兼城村・高嶺村・三和村の1町3村の合併による糸満町制施行(昭和36年)を経て、昭和46年12月1日に県内10番目の市として誕生しました。市制施行当時の人口は約4万人。以来、「ひかりとみどりといのりのまち」を基本理念に、南部の中核都市として発展し、今では6万2千人余の街となりました。

50周年という節目を迎え、糸満市を築き上げてきたすべての人に感謝するとともに、50年先も笑顔あふれる素晴らしい糸満市であり続けるよう、その思いを未来に繋いでいきたいと思います。



糸満市では、市制施行50周年に向けてカウントダウン写真を募集し、公表してきました。これまでの写真は、QRコードから見るができます。協力いただきました皆さま、本当にありがとうございました。



糸満市観光文化交流拠点施設(くくる糸満)に飾ることになる陶製シーサーを、陶芸家である大城節子さんから寄贈いただき、その設置式および清めの儀式が11月26日に行われました。

寄贈にあたり大城さんは「くくる糸満は、市民が待ちに待った施設で、市の観光や文化また伝統の継承の拠点になる施設です。施設着工の話を聞いたころからシーサー制作の準備を始め、約2年で完成しました。施設のためにシーサーをつくって寄贈できるのはとても幸せです。これからの未来ある子どもたちのために糸満市の文化を継承できるような施設になっていくことを願っています」と話しました。

大城さんからは、この寄贈のほか、糸満市役所庁舎や糸満警察署が完成した際にもシーサーの寄贈をいただいております。

おおしろ せつこ
大城 節子さん

くくる糸満に
シーサー寄贈



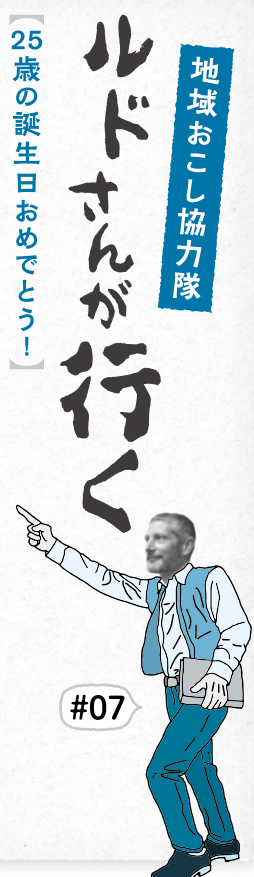
SPOTLIGHT
今月の
スポットライト
さん No. 54

25歳の誕生日おめでとう!
糸満市の市制施行50周年の記念日が最近の話題になっていますが、私は他にも祝いたい誕生日があります。それは、図書館竣工25周年の記念日です。
なぜ急に図書館の話をすると思いましたが、実は糸満市では、図書館の利用者が人口の4割しかないそうです。日本の地方に住む方は「文化」へのアクセスが良くない、インフラが衰えているというイメージが定着しつつありますが、私は元から図書館のヘビューザー家族で、逆に、糸満に住みたいと思った理由の中に、立派な図書館がこの街の魅力だと思ったからです。
まず、建物は自然豊かなロンドン杜公園の丘にあり、図書館の窓からは、街・青いイノ・慶良間諸島まで見渡せる風景で超贅沢な立地にあります。それ以外にも、良く調べてみたら、糸満市の人口の割合で見ると、図書館の広さは日本平均の2倍で、蔵書の数もみても日本平均の1.5倍と、機能的にも凄く優れた施設です。
でも、私が好きなのはそれだけではない。本を好きになつてもら



ルド

ために、色々な取り組みと工夫しているところも特別です。特に地域の方々の絆を大事にしている移動図書館「くろしお号」は大活躍しています。広い糸満市の隅々まで本を届けるとともに、会話をしながら地域の繋がりを活かしているのが素敵だと思います。また、館内にも、スタッフが子ども向けに可愛くて面白いテーマ別の冊子を作成していたり、大人向けに「恐い本特集」や「カバ」に花がある本特集」なども作っているところに愛を感じます。
我が街の図書館は、ただ本を借りるだけの場所ではなく、地域の情報を共有できる、街の重要な絆をつくる場所でもあるから、利用者が一人でも増えると嬉しいな。



沖縄県糸満市
ItoMan City

■人口		■火災・救急	
	10月 前月比	10月 前年比	
人口	62,211 26	火災	2件 (20件) -2 (0件)
男	31,506 9	救急	237件 (2408件) 14 (-23件)
女	30,705 17		
世帯数	27,493 17		

※()内は令和3年の累計

- 面積 46.63Km² (2021年6月1日現在)
- 市の花木 ブーゲンビレア ■市の木 ガジュマル
- 市の花 日日草 ■市の魚 タマン

(人口、世帯数、火災・救急件数は2021年10月末現在)



「声の広報」届けます

目の不自由な人に糸満市の情報を届けるため、広報いとまんをCDに吹き込み配布しています。「声の広報」を希望する人は、秘書広報課(☎840-8118)まで問い合わせてください。

ラジオ広報・市役所便り
(FMたまん)

- 月～金
- ①7時45分～7時50分
- ②12時55分～13時
- ③17時55分～18時
- 土～日
- ④12時55分～13時